



奈良県感染症情報

令和5年 第24週(6月12日～6月18日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	ヘルパンギーナ	5.59	(4.06)	↑↑	↑↑	↑	↑↑
2	感染性胃腸炎	5.56	(5.00)	→	→	↓	→
3	新型コロナウイルス感染症	5.40	(4.64)	↗	↗	↑	↗
4	RSウイルス感染症	4.79	(5.15)	↗	→	↗	→
5	A群溶連菌咽頭炎	1.59	(2.12)	→	→	↗	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↓やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

ヘルパンギーナの報告数が、5週にわたり急増しています。ヘルパンギーナの主な原因である「コクサッキーウイルス A 群」は、ノンエンベロープウイルスであり、アルコール消毒剤に対する抵抗力が高いため、流水とせっけんでしっかり手を洗い、ウイルスを落とす等の感染対策が必要になってきます。

感染性胃腸炎の報告数は、前週から横ばい傾向となっています。夏期は汗を多くかくため、脱水症状が起きやすい時期です。嘔吐や下痢の症状が激しい場合は、注意しましょう。

新型コロナウイルス感染症の報告数は、やや増加傾向となっており、隣接する府県についても、同様に増加傾向となっています。手洗いや換気、マスクの効果的な場面での着用など、基本的な感染対策に取り組みましょう。

RSウイルス感染症の報告数は、前週から減少しましたが、流行しています。引き続き、感染予防を心がけましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(田中小児科医院)

幼児の発熱者の殆どはヘルパンギーナで、咳を伴う者ではRSウイルス感染症が多い。

学童ではCOVID-19が見られる。溶連菌感染症の学童がいた。

病院への紹介を必要とする気管支炎、気管支肺炎が散見された。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

発熱、感冒症状、種々の夏風邪の例で外来数は増加中。

COVID-19陽性が散見程度ではあるが僅かに増加傾向。症状は短期の発熱など軽症。

インフルエンザは見られなかった。

幼児を中心として、アデノ、ヘルパンギーナ、手足口病など夏風邪が流行、RSウイルスも流行中で3～5歳児にもみられる。

感染性腸炎も流行、ノロ様の嘔吐が多いが、水様下痢の例もある。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

COVID-19感染症は散見されるも急増してきていない。小児では比較的軽症で経過している。

インフルエンザの流行は落ち着いた。遷延する呼吸器症状の小児からはパラインフルエンザ、ヒトライノウイルス、RSウイルスが検出されている。

ヘルパンギーナが増加している。手足口病の流行はみられない。アデノウイルス感染も増加してきている。

ウイルス性腸炎(迅速検査は各種陰性)が増加してきた。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 5 年 第 24 週 6 月 12 日 ~ 6 月 18 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野		
インフルエンザ/COVID-19定点数	55	14	14	11	10	6	
インフルエンザ	35 (0.64)	2 (0.14)	22 (1.57)	4 (0.36)	7 (0.70)		
新型コロナウイルス感染症	297 (5.40)	45 (3.21)	85 (6.07)	45 (4.09)	93 (9.30)	29 (4.83)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	3	
RSウイルス感染症	163 (4.79)	17 (1.89)	20 (2.22)	54 (7.71)	69 (11.50)	3 (1.00)	
咽頭結膜熱	19 (0.56)	1 (0.11)	6 (0.67)	6 (0.86)	6 (1.00)		
A群溶連菌咽頭炎	54 (1.59)	8 (0.89)	21 (2.33)		24 (4.00)	1 (0.33)	
感染性胃腸炎	189 (5.56)	34 (3.78)	59 (6.56)	22 (3.14)	69 (11.50)	5 (1.67)	
水痘	9 (0.26)	1 (0.11)		1 (0.14)	2 (0.33)	5 (1.67)	
手足口病	22 (0.65)	4 (0.44)	4 (0.44)	7 (1.00)	5 (0.83)	2 (0.67)	
伝染性紅斑	1 (0.03)	1 (0.11)					
突発性発しん	9 (0.26)	3 (0.33)	5 (0.56)		1 (0.17)		
ヘルパンギーナ	190 (5.59)	59 (6.56)	26 (2.89)	24 (3.43)	72 (12.00)	9 (3.00)	
流行性耳下腺炎							
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	
急性出血性結膜炎							
流行性角結膜炎	11 (1.10)	2 (0.67)	3 (1.00)	6 (3.00)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	
細菌性髄膜炎	1 (0.17)		1 (0.50)				
無菌性髄膜炎							
マイコプラズマ肺炎							
クラミジア肺炎							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)							

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核6件(奈良市1、郡山4、中和1)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症2件(奈良市1、郡山1)
4類感染症	レジオネラ症3件(奈良市1、郡山1、吉野1)
5類感染症	ウイルス性肝炎1件(中和1) 梅毒1件(郡山1) 百日咳1件(吉野1)

❖ 第 24 週のトピックス ❖

新型コロナウイルス感染症に関する抗体保有状況調査について(厚生労働省HP)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00132.html

新型コロナウイルス感染症の直近の感染状況等(2023年6月16日現在)(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/12090-covid19-ab122nd.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男女						1	2					3	1	2	2		20				31	4350	
新型コロナウイルス感染症	男女	4	2	4	3	1	2	1	2	1	1		7	13	10	16	15	22	21	13	7	141	572	
RSウイルス感染症	男女	8	16	17	21	6	5	7	3	2	1											86	719	
咽頭結膜熱	男女		2	3	3	1	2															11	118	
A群溶連菌咽頭炎	男女			1	2	1	8	9	2	4		2			1							30	285	
感染性胃腸炎	男女		5	12	12	11	13	13	6	8	3	5	9	1	11							109	2591	
水痘	男女		1				1						1									3	24	
手足口病	男女	1		4	2	5	1	1	2				1									15	111	
伝染性紅斑	男女									1												1	5	
突発性発しん	男女	1	2	1	1																	5	118	
ヘルパンギーナ	男女		2	24	26	16	10	16	6	2	1											103	319	
流行性耳下腺炎	男女		5	17	20	14	14	8	4	1	1											87	271	
急性出血性結膜炎	男女																							
流行性角結膜炎	男女			1		2					1		1				2		1		2	6	37	
細菌性髄膜炎	男女																	1				1	4	
無菌性髄膜炎	男女																						1	
マイコプラズマ肺炎	男女																						1	
クラミジア肺炎	男女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女																						1	

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

